



## 院内感染防止対策の取り組みについて



当院では、患者様やご家族をはじめ病院に関わる全ての人たちを医療関連感染から守るために、以下のような感染対策に取り組んでいます。

院内での感染症発生を防ぐために、患者様やご面会の方にご協力をお願いすることもありますので、ご理解いただきますようよろしくお願い致します。

- ◇ 職員は患者様の診療やケアの前後に手指消毒又は手洗いを行います。
- ◇ 職員は患者様の状態に応じてマスク・手袋・エプロン・フェイスシールドなどの感染防護具を着用し、診療やケアを行います。
- ◇ 感染制御チームは院内を定期的に巡回し、感染対策の実施状況の確認や指導を行い、現場における感染問題への迅速な対応に努めています。
- ◇ 全職員対象の感染対策研修会を年 2 回以上開催し、職員の感染対策に対する意識・知識・技術向上に努めています。
- ◇ 抗菌薬が効かなくなる菌（薬剤耐性菌）や感染症の発生状況を調査し、定期的に職員へ報告を行い情報の共有を図り、院内集団発生の防止に努めています。
- ◇ 薬剤耐性菌の発生を防止するために、抗菌薬の適正な使用に努めています。
- ◇ インフルエンザなど感染症が流行する場合には、患者様やご面会の方にご協力いただきたい感染対策について、ポスターの掲示やホームページにてお知らせします。
- ◇ 近隣の医療機関や保健所とも連携を図り、地域の感染症発生状況を把握するとともに、地域内での感染拡大防止に努めています。